



平成 23 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 三菱製紙株式会社
代表者名 取締役社長 鈴木 邦夫
(コード番号 3864 東証・大証 第一部)
問合せ先
広報・IR室長 白川 文人 電話 03-3213-3763

「東北地方太平洋沖地震」の影響に関するお知らせ (第3報) (設備復旧状況と夏の電力不足に向けての当社自家発電力の供給について)

平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

地震および津波の影響により、操業を停止いたしました当社グループの生産拠点であります八戸工場（青森県八戸市）、北上事業本部（北上ハイテクペーパー株式会社、岩手県北上市）、白河事業所（福島県西白河郡西郷村）の現時点における状況および夏の電力不足に向けての自家発電力供給について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 生産拠点に関する状況

当該地域における状況は次の通りです。

○八戸工場（塗工・非塗工印刷用紙、情報用紙、白板紙）

・引き続き、操業は停止中。

・パワープラント（自家発電設備）の状況

予定通り、4月下旬からの順次立ち上げを行う予定。

現在は、2台の重油ボイラー、3台のタービンの試運転中。

中部電力株式会社殿のご支援もあり、5月下旬にはすべてのパワープラントの立ち上げを予定。

また、当社は東日本の電力不足解消に寄与するため、パワープラントを早期に立ち上げ、一部電力を東北電力株式会社殿に供給すべく、関係省庁及び青森県の協力を仰ぎ、東北電力株式会社殿と協議した結果、5月以降、夏の需要期に向けて5万キロワットの電力を供給することで大筋合意した。

・抄紙機、塗抹機の稼働予定

5月25日から一部の抄紙機及び塗抹機が操業を再開の予定であり、その後順次、抄紙機及び塗抹機稼働させ、平成23年度上期中には、一部銘柄を除き八戸工場主力製品の生産体制が整う予定。

フル生産が可能となるのは平成23年度下期中になる見込み。

○北上事業本部（写真用印画紙原紙、衛生用紙、パルプ）

- ・ 4月3日に復旧したが、4月7日の宮城県沖を震源とする余震の影響により、全てのマシンが再度停止。4月14日には操業を再開したものの、一部原材料の安定調達が困難な状況であり、フル操業にはまだ時間を要す。

○白河事業所（生產品目：プレスボード（電気絶縁紙））

- ・ 3月24日に全面復旧し、操業を再開。（フル操業）

2. 業績への影響について

この地震による被害状況については、現在算定中です。業績予想の修正が必要となった場合は、別途開示いたします。

以 上